

■全国各地で車座地域交流会を開いています

福島原発行動隊は10月以降、山田理事長を囲む車座地域交流会を全国各地で開催してきました。今後は12月2日に広島と福岡で開催し、これをもってとりあえず一区切りつけることになります。

これまでに開催したのは、札幌、室蘭、盛岡、仙台、郡山、長岡、長野、静岡、大阪の9都市です。それぞれの地域ごとに人数も形式もさまざまでしたが、日頃接触することが難しい各地の行動隊員・賛助会員と忌憚なく意見を交換できたことはきわめて価値あるものでした。

この地域交流会の中で山田理事長は、福島第一原発の現状を説明しながら、事故収束作業を東電から切り離して国家プロジェクトとし、また多重下請け構造を排して一貫したプロジェクトマネジメントを実現することの必要性について説明しました。



静岡市での車座集会（11月17日）

私たちが福島原発行動隊を立ち上げた昨年前半には、すぐにも福島第一原発での作業が可能ではないかと考えていました。しかし現実には、多重下請け構造をはじめとする日本社会特有の問題が大きな障壁として立ちはだかっていることが昨年来の交渉の中で次第に明らかになってきています。

多重下請け構造は、IT産業においては10年余り前から問題になってきており、現在では解決への道が見えています。福島原発においても、多重下請け構造はいずれ解消されなければならない課題となっています。燃料デブリ取出しに向けて今後ますます困難な作業が予想される中で、現在の体制のままで収束作業を続行することはきわめて難しいでしょう。

今後も私たちは請願署名運動や川内村などでの周辺活動を行いながら、地域交流会などを通じて行動隊員や賛助会員の皆さんとの意見交換を深め、福島原発行動隊の今後の方向を見定めていきたいと思えます。

これまで、参加人数の申し出が少なかった地域でも機会をみて地域集会を開きたいと考えますので、ご希望のある方は事務局へご連絡いただければ幸いです。

■色々な形で、色々な運動を！

10月にスタートした請願署名運動の締め切りがあと半月に迫ってきました。しかし残念ながら、日本政府や衆参両議院に提出する筆数としてはまだまだインパ

クトに欠けています。そうした訳で、皆さまにここで再度のお願いをさせていただきます。

お住まいの地域で多くの方々にご署名いただき、福島原発行動隊の事務所へお送りください。請願署名用紙は福島原発行動隊のウェブサイトのトップページからダウンロードしてください。

多くの署名を集めるため、福島原発行動隊の事務局では街頭での署名活動も進めています。また関西や中国地域でも、行動隊員や賛助会員による街頭署名活動を独自に展開しています。

東京では、11月11日に脱原発を訴える国会議事堂前の大集会の会場近くで、また11月28日に日本原子力研究開発機構（JAEA）が主催する第7回原子力機構報告会の会場近辺で署名活動を行いました。このように“脱原発派”であるか“原発推進派”であるかに関わりなく、原発に関心のある人たちの集まる場所に出かけて請願署名のお願いをしています。

ぜひ皆さまの地域でも、色々な形で請願署名の運動を進めていただくよう再度のお願いをいたします。

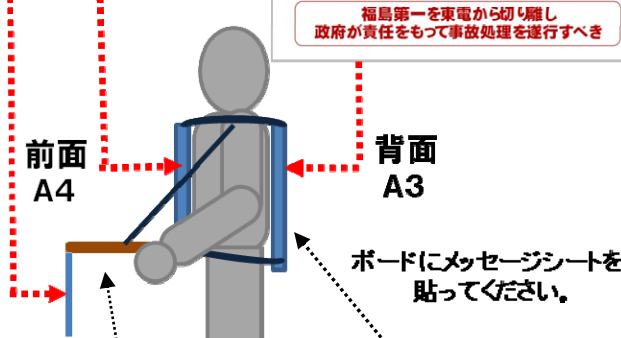


街頭で請願署名活動を行う行動隊員

署名道具一式の作り方

福島原発の事故処理を
放射線への影響が少ない
シニアの力で
公益社団法人福島原発行動隊

公益社団法人 **福島原発行動隊の主張**
福島事故処理を国家プロジェクトで
 事故処理は40年以上も続く!!
 営利企業である東電が利益を生まない事故処理を継続する不合理
 電気料金値上げなど不透明な形で国民へのつげ回し
福島第一を東電から切り離し 政府が責任をもって事故処理を遂行すべき



前面 A4 背面 A3

ボードにメッセージシートを貼ってください。

署名ボードは B4サイズのクリップボードが最適です。

ゼッケンは 発泡スチロールのカラーボードや段ボール等でお作りください。

※B4サイズのクリップボードや硬質発泡スチロール製のカラーボードは、100円ショップやスーパーで販売されています。

■福島原発行動隊の特集番組が放映されました

11月24日（土）午後3時55分から30分、福島中央テレビが『「シニアからのメッセージ」—シルバー原発行動隊の思い』という特別番組で福島原発行動隊を紹介しました。

この特別番組では、「さまざまな経験や技能を兼ね備えた方々で組織され、原発事故の収束のために、若者たちを被ばくさせないために、現場作業の肩代わりを、と政府や東電に訴え続け」「思うように行動が起こせない障壁に挑みながら奮闘している老人たち」（テレビ局の紹介記事から）の様子をきめ細やかな観察と明晰な解説で紹介しています。

理事長をはじめスタッフへのインタビュー、院内集会での討議や事務所での諸活動、渡米活動、東京電力への働きかけ、川内村での種々の交渉や事業、モニタリング、郡山での車座集会、被災地での人々との交流などなど、短時間にもかかわらず、見事な構成力で福島原発行動隊の思いと実情を浮き彫りにしています。

ほぼ四カ月の長期にわたって、折に触れては出現して密着取材を続けた担当記者の真面目で真摯な姿勢に、ともすれば取材に眉をひそめがちな頑固老人の表情も次第にはぐれていったものです。記者の述懐によれば、行動



隊へのかなりの思い入れが表出した作品になったとのことで、そのせいか、深刻な問題を取り扱っているにも関わらず、全体を通して温かい雰囲気にも包まれた作品になっています。番組のDVDは事務所にあります。

■年末年始の予定

総選挙が行われるため12月の院内集会は開催しません。また12月22日(土)から1月6日(日)まで福島原発行動隊の事務所はお休みします。ご了承ください。

■「安全・衛生方針」を策定しました

福島原発行動隊は10月11日開催の理事会において「(公社)福島原発行動隊 安全・衛生方針」を決定しました。この方針は、行動隊が各種事業を行う際の安全・衛生に関して遵守すべき事項を宣言の形でまとめたものです。今後行動隊が行う現場作業はこの方針に従って行っていただきます。

(公社)福島原発行動隊 安全・衛生方針

宣言

福島原発行動隊員は、メンバー構成、任務等の特殊性を十分考慮し、下記を自覚して、安全に任務を遂行します。

1. シニアとして現役世代の範となります。
2. 相互の意思疎通に努め、『だろ行動』を排除します。
3. 作業内容をよく把握してから、着手します。(TBM-KY)
4. 高齢者特有の災害に配慮した、計画と実施にします。
5. 放射線被ばくを最小限に留めるよう、業務を遂行します。

禁止事項

上記宣言を具現化する為、ボランティア精神の下、笑顔と挨拶を忘れず、皆で協力して、下記禁止事項を見逃しません。

1. 管理者の職務不履行

各班長・法定作業指揮者・監視人による次条以下の不安全行為の意図的な見逃し、安易な予定外作業の実施、天災予報無視と事故（怪我発病）通報の意図的な不履行

2. 作業員放射線被曝

指定区域内でのマスク未着用及び飲食喫煙、指定作業での防災服具未着用・不備、強風時高土埃作業、代表作業者の積算線量計未着用、ホットスポット未確認、除染電離則健康診断未実施での指定区域内作業

3. 高齢者危険作業

熱中症危険環境での指定時間以上無休息・無給水、怪我・体調不良・高血圧未申告、10kg以上の荷物の不用意な持上げと単独運搬、荷物運搬ルート・階段の躓き障害物未確認、不自然な姿勢での長時間作業

4. 不安全高所作業

屋根上部等 2m 以上の高所・足場上でのヘルメット・安全帯未使用及び高血圧者作業、脚立・梯子・トラック荷台上での不安全作業

5. 設備・交通安全違反

法定機械装置の未点検・無資格運転、非認定運転者による業務上の車両運転、100km 又は一時間以上の単独公道運転

6. 反社会的行為

放射能汚染物の無断持出・廃棄、思慮分別を欠くこと（酒気帯び・悪ふざけ等）による危険行為

目標

- ・行動隊員最大放射線被曝線量：20mSv 以下/年・人
- ・休業 1 日以上死傷者度数率：6件以下/百万時間
- ・本目標達成に向け、安全衛生委員会は OSHMS により、作業実績を評価し、作業計画・指示書に反映すると共に、各種基準・教育内容の整備を図る。

2012年10月11日 公益社団法人 福島原発行動隊
理事長 山田恭暉

■2012年11月1日から11月30日までの主な活動内容

院内集会	11/8	参議院議員会館B103号室
事務局連絡会	11/2, 9, 16, 22, 30	滝野川事務所
原発ウォッチャー会議	11/7	滝野川事務所
山田理事長を囲む地域交流会	11/10, 11, 12, 17	長野、新潟、札幌、静岡
社会経済システム学会のシンポ「科学技術と社会経済システム—原発の諸課題といかに向き合うか」で山田理事長が報告	11/18	静岡県立大学
請願署名活動	11/28	第7回日本原子力機構報告会（東京虎ノ門）